

徳島県総合計画審議会計画推進評価部会報告

第1回 計画推進評価部会

- 1 開催日時 平成20年7月10日(木) 15:00～16:45
- 2 「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)の進捗状況について」いただいたご意見の概要

(1) 主要事業及び目標水準・数値目標の進捗状況について全般的なご意見

第一幕の時から計画推進評価部会に参加しており、徳島県の進んでいる方向などが分かってきた。第二幕の一回目の評価としては、全体としては順調である。

「経済飛躍とくしま」の実現関係の指標など、数値目標はある程度達成しているが、景況感とのズレを感じるので、数値目標の設定について見直す必要があるのではないかと。

行動計画の取組内容が、各部の縦の系列でなく、経済とか文化といった横の系列となっているところが分かりやすい。

南部総合県民局の不祥事が発覚したのは平成20年度であるが、このような大きな事件があった場合、そうしたことを踏まえた評価をすべきである。

各基本目標に関するご意見「オープンとくしま」の実現

「行財政の構造改革の推進」関係については、県民から見ても、分かりやすい形で変革が行われていると思う。

「経済飛躍とくしま」の実現

中小企業向けの融資制度などで実績が上がっていないのは、目標の立て方が甘かったのか、思ったより県内の企業の体質が弱いのか、気になる。

漁業協同組合を1組合にする取り組みが全く進んでいない。

漁業の問題では、鳴門わかめの偽装など、「とくしまブランド」がマイナスイメージで全国に発信されるケースが結構あるので、県がきちんと管理していくべきではないか。

「新鮮とくしまブランド戦略の展開」では、新鮮なっ！とくしま号の活動、また、徐々にブランド数も増やすなど、定着に向かって進んでいると思う。

農業ブランドを確立し、田舎と都会を結んで、都会にある人やお金を田舎に持ってくる必要があるとあり、計画において、食を基調に「地元で安心して暮らせる」という方向性を目指す姿勢に安心感を覚える。

第一次産業は、生産面では頑張っているが、販売が弱いので、「農工連携事業による商品開発事業数」や「水産業と商工業が連携した見本市開催数」など、農と商の連携の中で、加工品などの販売についての取り組みを継続することで、農業の生産高の底上げなどにつながると思う。

資源高、特にガソリンが高騰しており、県として、どういう手を打つべきなのか打てることは何なのかについて、検討するべきではないか。

輸入食品の残留農薬の問題、石油高騰によるハウスものや旬の時期とズレたものを作ることによる生産価格の高騰などの問題があり、第一次産業を見直す時期にあるのではないかと。また、地産地消や旬のものを食べることをPRし、ブランド化を進めてもらいたい。

高齢化の一方で、若者が農業に目を向けているという話もあり、農業の技術を家人から学ぶだけでなく、新しい農業技術を取り入れるため、販売方法などの情報提供も含めて、農業の現場への指導を増やして欲しい。

「環境首都とくしま」の実現

行政による河川の浚渫や我々NPOによる清掃活動やEMボカシの投入などにより、河川の浄化が図られていると思う。

「安全・安心とくしま」の実現

中国四川大地震や岩手・宮城内陸地震をみると、沿岸部の津波対策などだけでなく、内陸部の集落の孤立化対策も重要である。

耐震化について、味があって良い建物は古いものが多く、耐震化の対象となるが、財政事情などにより、なかなか進められないので、進めるための良い方策をとってほしい。

「まなびや、とくしま」の実現

子育て支援に知事が力を入れてくれており、学童保育や放課後対策などいろいろされているが、ファミリーサポートセンターがまだ無い地域もあり、取り組みを進めて欲しい。

新鮮なっ！とくしま号の活躍など、県の取り組みもあり、地産地消の取り組みが、スーパー、飲食店などに広がっており、成果が出ていると感じられる。

「みんなが、とくしま」の実現

「GO！GO！くっつき隊応援し隊」協賛店舗数について、関西や四国に広がっている点は評価できるが、協賛店がわかりにくいので改善をして欲しい。

「外国人が住みやすいまちづくり」に関して、県庁のホームページの多言語化が進んでいないなら、整備していくべきである。

「にぎわい、とくしま」の実現

道の駅は、ブランドの宣伝などに役立つところであり、人形浄瑠璃などと組み合わせると相乗効果で観光にも役立つので、徳島県ならではの発想で、観光の予算も回して積極的に取り組んでほしい。

「文化立県とくしまづくり」については、非常に大きな金額の事業がたくさんありながら、進捗状況が良くないのは、平成22年度を目標としているためなのか、国民文化祭が終わってちょっと息切れしているのか、気になる。

国文祭は大成功であった。国文祭における文化の盛り上げりを、一過性に終わらせることの無く、今後とも継続できるよう県としての力添えをしてほしい。また、「学校への芸術家等派遣回数」について、目標値をもっと増やすべきである。

(2) 個別事務事業の取り扱いについて

森田部会長からの提案により、議論をより深めるために、行動計画の推進に係る個別事務事業について、計画推進評価部会で評価を行うこととなった。

なお、全ての事務事業を見ることはできないので、『「オンリーワン行動計画（第二幕）」目標水準・数値目標 平成19年度進捗状況一覧表』から指標を10項目程度選んで、関連する事業について評価することし、議論の結果、次の11項目、関連する20事業について、8月6日に事業の評価を行うこととなった。

基本目標1「オープンとくしま」の実現

NPO法人数

- ・とくしまパートナーシップ推進事業（機能強化事業）
- ・とくしまパートナーシップ推進事業（活動支援事業）
- ・NPOトップランナー事業

基本目標2「経済飛躍とくしま」の実現

地震防災対策資金・融資件数

- ・中小企業振興資金貸付金
- ・中小企業金融円滑化補助事業

LED応用製品の研究開発参画企業数

- ・「LEDバレイ」推進事業

企業立地優遇制度適用指定企業数

- ・企業誘致対策事業

基本目標3「環境首都とくしま」の実現

「温室効果ガス排出量」

- ・地球にやさしい環境県民運動推進事業
- ・地球温暖化対策資金貸付事業
- ・とくしま新エネルギー導入促進事業

「間伐実施面積」

- ・森林環境保全整備事業
- ・未整備森林緊急公的整備導入モデル事業

基本目標4「安全・安心とくしま」の実現

消防防災ヘリにドクターヘリ機能を導入

- ・消防防災ヘリへのドクターヘリ機能導入事業
- ・救急医療体制推進事業

糖尿病の標準化死亡比

- ・メタボリックシンドローム一掃作戦事業
- ・糖尿病ワースト1脱却のための”地域力”結集事業

基本目標5「“まなびや”とくしま」の実現

学校給食における地産地消推進市町村数

- ・子どもの健康を育む学校食育推進事業

基本目標6「“みんなが”とくしま」の実現

移住交流支援センターの設置地域数

- ・定住・交流促進対策県・市町村連携事業
- ・がんばる市町村応援事業交付金

基本目標7「“にぎわい”とくしま」の実現

とくしまマラソンの開催

- ・とくしまマラソン支援事業

第2回 計画推進評価部会

1 開催日時 平成20年8月6日(水) 13:00~17:15

(1) 視察(13:00~15:00)

- ・森林林業研究所
- ・阿波十郎兵衛屋敷

(2) 会議(15:00~17:15)

2 「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標に係る個別事務事業の評価について

7月10日開催の第1回計画推進評価部会で選定した20事業に係る政策評価継続事業評価シートについて、ご意見をいただきました。その概要については次のとおりです。

なお、各個別事業に係るご意見としていただいたご意見のうち、様式や記載方法などに係るご意見については、全般的なご意見としてまとめています。

様式、記載方法など全般的なご意見

事業シートだけでは事業の内容が分かりにくいので、パンフレットなどの資料が添付されていると分かりやすい。

もっと分かりやすい様式を使っている県もあり、様式を工夫すべきである。

事業シートに、担当名だけでなく担当課名も表示すべきである。

事業の目的欄があれば、もっと分かりやすくなるのではないか。

事業目的が2つある事業の場合、事業シートも2つとすべきではないか。

活動指標、成果指標については、グラフによるビジュアル化を図るなど、分かりやすい表記とする必要がある。

活動指標と成果指標の関係がきちんと繋がっていないものがある。

成果指標は、事業の成果をアピールできるような指標とするべきではないか。

担当課評価欄の 印による評価は、差を付けるため、5段階で評価してはどうか。

総合的判断欄のA、B、Cの評価を3分の1づつとしないほうが、Cを付ける意味合いも大きくなるのではないか。

事業を止めた場合に、どう影響が出るかを記載してはどうか。

21年度予算に対する方針欄における、「引き続き見直し検討」の意味が分かりにくいので、より分かりやすい表記とすべきである。

単に公表するだけでなく、県民との双方向性を持った事業シートとするべきである。

内容が、各部局にまたがるような事業は、担当課でなく部局単位などの大きな括りで評価する方がよいのではないか。

行動計画に係る「目標水準・数値目標進捗状況一覧表」は分かりやすいが、事業評価シートを理解するには、かなりの努力が必要である。

各事業ごとにいただいたご意見

各事業ごとにご意見をいただきましたが、全般的なご意見へ記載したものの以外のご意見について、事業ごとに記載しています。

とくしまパートナーシップ推進事業（機能強化事業）

とくしまパートナーシップ推進事業（活動支援事業）

NPOトップランナー事業

少ない予算で、なおかつ予算が減っている中で、工夫しながら、事業を良く実施している。

県内大学との連携を進めるとともに、NPOの自立のために、地域ビジネスとして成り立つよう、事業展開の支援を進めるべきである。

財政状況が厳しい折、3つの事業を合わせて、予算を2割カットするといった考え方ができないか。

中小企業振興資金貸付金

協調融資制度の説明が無いことなどもあり、予算額と融資枠（活動指標）の関係が分かりにくい。

「LEDバレイ」推進事業

LEDバレイ構想については、周辺企業を育てるような事業を積極的に推進するべきである。

企業誘致対策事業

若者の雇用の場を確保するために、企業誘致は頑張ってもらいたい。

県のワンストップサービスにより誘致に成功したシャープの亀山工場の例があるので、徳島県でもワンストップサービスの体制を整えておくべきである。

森林環境保全整備事業

未整備森林緊急公的整備導入モデル事業

CO₂の削減にも役立つ事業であり、洞爺湖サミットを受けての国の事業展開も見込まれるので、国の事業とも連携を取りながら、積極的に推進して欲しい。

消防防災ヘリへのドクターヘリ機能導入事業

本日、2回の出動があり、現地視察に行けなくなったが、活用されていることを実感した。

糖尿病ワースト1脱却のための”地域力”結集事業

シンボリックなテーマでは、選んだ県民を追跡し、ウエストが何cm減ったかを見るといった、分かりやすく、楽しい成果指標を設定すれば良いのではないか。

最下位脱出をもっとアピールするべきではないか。

子どもの健康を育む学校食育推進事業

食の安全安心や農業の振興の面からも良い事業である。

予算が少ないが、もっと付けても良いのではないか。

定住・交流促進対策県・市町村連携事業

定住者を増やすことが事業の目的であるので、少なくとも良いので、目標として定住者数を掲げてはどうか。

とくしまマラソン支援事業

実行委員会の構成を見ると様々な団体等が参加しており、このような実行委員会を組織することで、種類の協働事業がうまくいくと思われ、モデル事業となるべき良い事業である。

とくしまマラソン参加者と知事による「とくしま円卓会議」の様子をCATVで見たが、事業の熱気が伝わってきて良かった。